

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|------------|
| ○事業所名 | さくらんぼ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R7年 4月 10日 | | ～ | R7年 5月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28 | (回答者数) | 20 |
| ○従業者評価実施期間 | R7年 4月 15日 | | ～ | R7年 5月 9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年 10月 1日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 子どもの状態や保護者のニーズに合わせて柔軟に対応できる。 | 保護者との密なやり取りや子どもの様子をよく観察し対応できるよう職員間での共有や話し合いをするようにしている。 | どのような対応ができるのかそれぞれのニーズにどこまで応えられるのかの線引きを職員間で共有認識としてもっておくとより迅速に対応できる。 |
| 2 | どんな子ども分け隔てなく楽しく活動に参加できるよう支援している。 | 絵カードや指差し等、言葉でのやり取りが難しい子とのコミュニケーションの取り方を工夫し、分かりやすい活動を心がけている。活動内容も一人一人の「できる」に合わせて支援するようにしている。 | 様々な障害や特性をもつ子どもたちそれぞれへの支援によって、パニックや本人の困りごとをより減らせるよう、その原因を分析し考慮していきたい。支援に活かしていく。 |
| 3 | 活動内容が豊富。 | ビジョンやライフスキル、英語やミュージックケアなど楽しく参加できる療育プログラムに加え、就労や子どもたちの将来に向けた活動など多岐に渡って支援している。 | 個別機能訓練については、利用者一人一人にとって適切なプログラムが組めているか改めて見直し、より充実を図りたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | クールダウンできる環境が整っていない。2階救護室、洗面所等で暑さ、寒さをしのげない。 | 事業所がせまく、エアコンの台数や部屋数が足りていない。 | 2階の環境を見直し、整えてあまりにも活動室での活動が難しい時は、2階でのクールダウンも検討する。 |
| 2 | 運動療育に限界がある。 | 感覚統合はあまり広さがなくてもできる為、工夫して取り組めるが、グループや相手がいるコミュニケーションを取りながらの運動は大きく体を動かすものも多く難しい。運動療育を通した社会適応力をどう伸ばすのが課題。 | 松戸体育館を借りての活動等で運動しているが、夏の間は工夫が必要。 |
| 3 | トイレの数が少ない。 | 借家のため、増やすことができない。 | 現状、学年ごとに時間をずらす等で対策していますが、トイレを増やすには引越が必要。 |